



大きな自然のポケットです。
山の山の手。丹波山村。

令和3年11月

編集と発行 丹波山村教育委員会 ■山梨県北都留郡丹波山村890 TEL ■0428-88-0211 FAX ■0428-88-0207
E-mail ■info@vill.tabayama.yamanashi.jp URL ■https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/



新庁舎起工式が行われました

令和3年9月2日木曜日雨空の中、新庁舎の起工式が行われました。式はコロナウイルス第5波の感染拡大による「まん延防止等重点措置」が山梨県に出されており、村は対象地域ではありませんでしたが、村長、議員、工事関係者等最小限の人数で工事の安全を願い厳かに式が行われました。

主なもくじ

令和2年度ふるさと納税	地域の出来事	8
寄附額及び使い道実績	新任紹介	9
村議会7月臨時会・9月定例会	お知らせ	11
保育所行事	新庁舎起工式	12
新庁舎建設ワークショップ	丹波小中運動会・丹波中清流祭	12

寄附額及び使い道実績

64,891,274円

① 村の資源を活かした 新たな雇用創出

■ 寄附額 20,804,400円

丹波山村では新たな雇用を創出するため、村の農林産業の活性化及び新庁舎建設地の宿（しゅく）地区の再生事業などのいくつかのプロジェクトを推進しています。村の特産品である原木舞茸の生産量を増やすため舞茸生産施設の改修工事などを行いました。その一部にふるさと納税を利用しています。各プロジェクトを進めるにあたり、村外から村内企業に新たな雇用が創出さ



れました。今後も引き続き寄附者様のご支援をいただき新たな事業を創出していききたいと思います。

② 観光の振興による 交流人口の拡大

■ 寄附額 5,574,694円

丹波山村では近年丹波山村からの登山口がある雲取山に登山者が多く来村されています。登山道は台風や大雨などで崩れてしまい、維持修繕に多額の費用がかかってしまいます。また、村内にある観光施設（ローラーすべり台や釣り場など）についても経常的に維持管理費がかかっている状況です。そのため、登山道整備や観光施設の維持管理費の一部にふるさと納税を利用しております。今後も丹波山村にある自然を活かした観光資源の維持管理やさらなる磨き上げにふるさと納税を活用させていただきます。

③ 首都圏からの 移住・定住促進

■ 寄附額 2,998,080円

村外からの移住促進に向けて各種施策を推進しています。その一環として、丹波山村のブランディングや新しいラ



令和2年度 ふるさと納税

令和2年度 総寄附額



イフスタイル提案に資する、事業意欲の高い移住者のための快適でリーズナブルな価格の住宅モデルの創出に取り組んでいます。

令和2年度には、丹波山村ビレッジハウスプロジェクトとして押垣外地区にパイロットハウスを1戸建設しました。その事業費の一部にふるさと納税を利用していただきました。令和3年度についても村外から移住者向けの住宅建設計画しており、ふるさと納税を活用させていただきたいと思えます。

④ 安心して 子育て出来る村づくり

■ 寄附額 22,769,100円

丹波山村では小学校及び中学校がありますが、令和2年度は小学生が10名、中学生が14名通学しておりました。国の定める学級編成基準に照らして、児童又は生徒数が少ないと複式学級になり2学年を収容して編成するクラスになります。丹波山村では、県から配置される教員だけでは複式学級になってしまうため村単独で教員を採用しており、その費用の一部にふるさと納税を利用していただいております。また、放課後子ども教室管理運営、児童・生徒の悩みや不安を低減するため「ほっとサポート」による臨床心理士の定期的な面談費、子ども医療費の全額補助や小中学校教育費(教材費、給食費、修学旅行費など)の完全無償化費用にもふるさと納税を利用していただいております。今後も安心して子育て出来る村づくりを行うためふるさと納税を活用させていただきたいと思えます。

⑤ 生涯健康で安心して 暮らせる村作り

■ 寄附額 10,796,400円

丹波山村では、保健・医療の充実、

高齢者の生きがいづくりと社会参加、介護サービスの充実を目指して様々な事業を行っております。その中でいきいき健康クラブ事業や丹波山村社会福祉協議会運営補助金などの一部にふるさと納税を利用していただいております。今後も丹波山村が生涯健康で安心して暮らせる村作りを行っていただくためにふるさと納税を活用させていただきたいと思えます。



⑥ その他の使い道 (おまかせ)

■ 寄附額 1,948,600円

村 議 会

7月臨時会

丹波山村新庁舎建設 工事に伴う急傾斜地 対策工事請負契約 7,249万円を可決

- ▼契約先 大阪府大阪市淀川区木川東4-8-4 太陽工業株式会社
- ▼契約方法 随意契約
- ▼契約金額 7,249万円(税込み)
- ▼工事期間 契約締結の翌日から、令和4年12月20日まで。

9月定例会

令和2年度決算認定、 企業版ふるさと納税 の条例整備他補正予 算等含め、提出議案 23件を可決。

■一般質問

質問者 守屋保志議員

「山岳遭難の抑制について」

「丹波山村における公共工事の契約のあり方について」

質問者 酒井隆幸議員

「丹波山村の教育の状況と今後の進め方について」

■令和2年度決算に基づく丹波山村健全化判断比率、資金不足比率の状況報告
実質公債費比率7.0%
その他数値に問題はありませんでした。

■条例改正

▼丹波山村まち・ひと・しごと創生基金条例
企業版ふるさと納税受ける基金を作るための条例です。

▼七ツ石小屋の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
テント泊使用料を令和4年1月1日から1泊500円を1,000円に改正しようとするものです。

■地方創生テレワーク事業に伴う交流促進センター改修工事請負契約締結

▼契約先 山梨県甲州市塩山上於曾1896番地 植野興業株式会社

▼契約方法 指名競争入札

▼契約金額 7,810万円(税込み)

▼工事期間 契約締結の翌日から令和4年3月24日まで。

■補正予算
令和3年度丹波山村一般会計補正予算(第4回)

令和2年度一般会計・特別会計決算概要

(単位:円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額	
一般会計	1,802,841,975	1,742,036,883	60,805,092	
特別会計	国民健康保険事業勘定	108,814,931	100,099,937	8,714,994
	国民健康保険直診勘定	89,439,754	87,731,723	1,708,031
	簡易水道事業	219,727,731	216,893,611	2,834,120
	教育奨励資金	2,704,685	300,000	2,404,685
	水源の里 保健休養施設事業	20,585,076	17,922,530	2,662,546
	特定環境保全 公共下水道事業	138,172,803	133,375,142	4,797,661
	有線テレビ放送 施設事業	6,394,240	6,275,000	119,240
	介護保険	145,386,138	127,486,752	17,899,386
	温泉事業	44,970,738	44,756,616	214,122
	介護サービス事業	552,812	0	552,812
	後期高齢者医療	12,400,980	10,032,967	2,368,013
	小計	789,149,888	744,874,278	44,275,610
	合計	2,591,991,863	2,486,911,161	105,080,702

令和3年度丹波山村国民健康保険特別会計直診勘定補正予算(第1回)
令和3年度丹波山村有線テレビ放送施設事業特別会計補正予算(第1回)
令和3年度丹波山村介護保険特別会計補正予算(第1回)
■令和2年度丹波山村一般会計歳入歳出決算認定から、令和2年度丹波山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定までの11会計と令和2年度山梨県東部広域連合一般会計歳入歳出決算の認定

■丹波山村固定資産税評価審査委員の選任について
安藤 敬司氏が再任されました。

■議員発議

▼コロナ禍による厳しい財政状況に
対処し地方税財源の充実を求める
意見書

▼加配定数の振り替えによらない小
学校35人学級の実施、中学校での
35人学級の実施、教職員定数改善、
及び義務教育費国庫負担制度拡充
を図るための意見書

地方創生テレワーク事業に伴う 交流促進センター改修工事着工



令和3年地方創生テレワーク交付金事業として実施する国庫補助事業である「地方創生テレワーク事業に伴う交流促進センター改修工事」が着工となりました。

現存の丹波山村交流促進センターを、村内のテレワーク需要を満たす中核施設として改修し、全体の雰囲気としては「自然・アウトドア」を意識し、コワーキングスペースなどを設けます。また一方で、屋外にも雨風を防げるような空間を整備し、豊かな自然をさらに間近に感じつつ仕事ができる環境を整備し、村外企業誘致を推進します。

工期は令和3年10月1日から令和4年3月28日を予定しています。

丹波山村古民家（旧廣瀬邸） 改築・改修工事着工

令和3年度地方創生推進交付金事業として実施する国庫補助事業である「丹波山村古民家（旧廣瀬邸）改築・改修工事」が着工となりました。

本施設は、コンシェルジュ、飲食提供、コワーキングスペース及び移住者相談などの機能を持った施設になる予定です。中でも飲食やコワーキングスペースは村民に活用してもらい、新たなコミュニケーションの場になることを目指しています。

工期は令和3年9月17日から令和4年3月25日を予定しています。



令和3年度

第2回 未来会議 開催

令和3年9月16日に丹波山村高齢者生活福祉センター2階会議室でオンラインを使用し開催されました。

今回各班（一体感のある街道と公共サービス、居場所と活動の場づくり、自然を利用した新しい活動の場）に分かれて論点の整理、未来像の共有、最大のチャレンジが決められました。

今年度あと2回開催予定の未来会議で未来像に到達するための課題や方法などが話合われる予定です。





年長児
おとまり保育

保育所行事

10月15日(金)・16日(土)

10月15日、16日とゆり組のお友だちがおとまり保育を行いました。

塩山ふれあいの森総合公園で遊び、甘草屋敷子ども図書館では、絵本の読み聞かせや工作を体験しました。スーパーで夕飯のお買い物も体験することができました。

夜は花火を体験し、初めて、お友だちと一緒に保育所に泊まりました。お家の人がいないと心細くなりましたが、頑張ってお泊まりすることができました。



10月11日(月) 成畑にある保育所の畑でさつまいも堀を体験しました。さつまいもの周りの土を丁寧に掘りながらおおきなさつまいもやちいさなかわいいさつまいもをたくさんとることができました。焼き芋や保育所でのおやつ、お家に持ち帰りたべようと思います。

さつまいも
収穫



10月11日(月)

新庁舎建設 ワークショップ

11月4日(木)丹波小学校体育館にて小学生及び中学生を対象とした新庁舎建設ワークショップが行われました。設計施工を担当している橋本尚樹建築設計事務所と太陽工業株式会社を中心となり、新庁舎の模型を使って新庁舎の概要を説明していただくとともに、自由な発想で未来の丹波山村の街並みを模型で作るなどとても有意義な時間となりました。



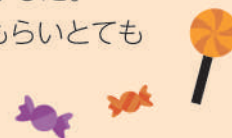
10月29日(金)

10月29日(金) 保育所の子どもたちが仮装して、近隣のお宅におじゃましました。

おおきな声で「とりっく おあ とりーと」といい、お菓子をもらいました。

ご近所のご協力もあり、楽しいハロウィンを体験することができました。

たくさんのお菓子をもらいとても喜んでいました。



地域の出来事 Topics & News

令和3年度戦没者慰霊祭開催

令和3年度戦没者慰霊祭を8月15日に開催いたしました。本年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり人数を制限しながらですが、遺族会の皆様・村長・役場職員計14名で戦没者の方々を御供養することができました。



丹波山村と大田区の意見交換 (リモート会議)

9月1日(水)午前11時から12時まで開催されました。丹波山村からは村長、副村長、教育長、関係課長が出席し、大田区からは区長、副区長、教育長、関係部の部課長が出席されました。

多摩川で繋がる丹波山村と大田区がお互いの強みを生かし連携することで新しい連携を進めていくため今回意見交換が行われました。

特に今回は①教育②観光、産業をメインに意見交換が行われました。

実行可能性の高い具体的な案も出ており今後の大田区との連携が期待されます。



地区別行政懇談会

11月1日(月)から11日(木)まで、地区別に行政懇談会が開催されました。村長と村民の皆様との間で活発な意見交換が行われました。



新任紹介

地域おこし協力隊



としひこ 小 林 寿彦

10月から地域おこし協力隊としてたばやま観光推進機構に参加させていただきます。

調理関係が得意ですが、どんなことでも積極的に参加させていただきます。

丹波山のおいしい素材で、おいしいものを作り、訪れた方、住んでいる方、そして、つくる人も幸せになれたらいいと思います。

暇になると、水場近くを散策していますので、お気軽にお声がけください。



まさき 樋口 雅紀

介護福祉士として地域おこし協力隊にやってきた樋口雅紀と申します。

子どもの頃から「〇〇くん似てるよね！」や別の誰かと間違われたり、野村萬斎さんや芸人の石

田明さんに似ていると言われてきました。特徴が無い様な顔が私の特徴でございます。介護分野だけではなく、観光業や農業など幅広くお手伝いさせて頂くことになるので皆様とどこかでお会いすると思います。慣れないことも多いかもしれませんが、どうぞこれからよろしくお願いたします。



けいた 山崎 慶太

ここ1、2年、コロナウイルスにより人との結びつきが薄れ、その重要性を実感した人も少なくないでしょう。コロナ収束に伴い交流の場も増えていきますが、そういった場で求められる1つにお酒があります。中でもジンは他のお酒と違い様々な素材を蒸留して作られるので、華やかなものからスパイシーなものまで色々な香りや味を楽しめると同時に、作られる地域色を強く出せるお酒でもあります。2年後の蒸留所始動を目標に、10月より丹波山倶楽部で活動していきます。

地域活性化起業人



10月から地域活性化起業人にアグリマス株式会社の小瀧歩さんが村から委嘱されました。ワーケーション法人会員の獲得や企業版ふるさと納税の獲得、村の特産品等の販売などを行っていきます。

*地域活性化起業人とは、三大都市圏に所在する民間企業などの社員を地方自治体が受け入れ、そのノウハウや知見を活かして地域の魅力や価値の向上につながる業務に従事することで、自治体と企業が協力して地方への人の流れの創出などを旨とする制度です。

★ ご長寿 ★ おめでとうございます

高尾の橋詰トヨノさんが、令和3年8月17日に90歳のお誕生日を迎えられました。当日は、お祝いとともに、村から記念品等を贈呈しました。

これからも健康にご留意され、いつまでも、お元気で。



▲ 橋詰トヨノさん（高尾）



辛子味噌

材 料

- しその実：3カップ
- 唐辛子(生のもので葉も使う)：10本
- 麴：1キロ
- にんじん：200グラム
- ごぼう：200グラム
- きのこ(またはしいたけ)：200～250グラム
- しょうゆ：1カップ
- 味噌のたまり：1カップ

5回目の今回は、丹波山の郷土食「辛子味噌」を紹介します。
ご飯のお供にしてください。



作り方

- ① しその実をしごいておく。
- ② 唐辛子は全体の1/3位をきざみ、葉やしその実と一緒にゆがいておく。
- ③ にんじん・ごぼうは小さめのささがき、きのこも小さく切って、ゆがいておく。
- ④ 麴・味噌のたまり・しょうゆをよく混ぜる。
- ⑤ はじめは麴がとけないので、ぱさぱさするが、数日たつとしっかりしてくるので、しょうゆは多く入れないようにする。ときどきしゃもじでかき回す。
- ⑥ 出来上がったらご飯と一緒に食する。

認知症予防講座開催について

10月14日(木)に鴨澤公民館において東部地区の65歳以上の方を対象に「認知症予防講座」を行いました。

講師は、甲州リハビリテーション病院の理学療法士の佐藤聡さんをお願いいたしました。認知症の病気のお話だけでなく、頭と体を鍛えるコグニサイズも行い、楽しく体を動かしました。

講師の話で印象的だったのが、『「きょうよう」とは、今日(きょう)用(よう)がある。「きょういく」とは、今日(きょう)、行く(いく)ところがある。』とのお話でした。社会参加の大切さを講師から教えられました。

東部地区だけではなく、他の地区にも運動の機会を増やして行きます。



お知らせ Information

奨学金について

村では経済的理由のため、就学の目的を達することができない高校生・大学生等に奨学金を貸与しています。貸付条件は次のとおりです。

高等学校又は短期大学、大学に在学していること・村内に住所を有する者及びその子弟であること等が奨学生の要件となります。貸付額は月額25,000円です。奨学金の貸付終了後6か月を経過した後、10年間で返還を行います。奨学金の貸付を受けた者が村で生活を維持し3年以上経過したときは、その後の奨学金の返還を免除することができます。

自衛官の募集内容 変更について

令和3年度における自衛官候補生並びに2等陸士、2等海士及び2等空士の一部募集の採用人数及び応募資格に変更がありました。

変更内容等をご確認したい方は住民生活課へお問い合わせください。

放送大学 入学生募集のお知らせ

放送大学は、4月入学生を募集しています。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。全国に学習センターが設置されており、サークル活動などの学生の交流も行われています。資料を無料で差し上げています。

お気軽に放送大学山梨学習センター(055-251-2238)までご請求下さい。

出願期間は、第1回2月28日まで、第2回は3月15日まで。



Let's try!

「やまなし食ロス3ゼロ運動」

取り組もう!!

食べきろう
使いきろう
届けよう

料理はおいしく食べきろう → **食べ残しのもったいない “0(ゼロ)”**

家庭 食べきれ的分だけ注文、食べられる分だけ作る、残ったらリメイクでおいしく

事業者 顧客のニーズに合わせた量に調整・販売、持ち帰り対応、3010運動の推進

食材は無駄なく使いきろう → **食材のもったいない “0(ゼロ)”**

家庭 食材を無駄にしない調理、食べきれる量を購入、買い物前に在庫を確認

事業者 食材を無駄にしない調理、値引き等で売り切り、賞味期限の延長・年月表示、過剰生産の抑制、家畜の飼料化

使わない食品は届けよう → **未利用食品のもったいない “0(ゼロ)”**

家庭 食べない食品を確認、フードドライブ活動へ参加・寄付

事業者 フードドライブ活動の実施、フードバンクや子ども食堂などへ寄付

※フードドライブとは家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄附する活動のことです。

身近なことから始めてみよう

例えばこんな取り組みも・・・

- スーパーの棚の商品は手前から取る

消費期限や賞味期限が過ぎて売れ残ると廃棄され食品ロスになってしまいます。賞味期限は「おいしいめやす」です。期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではありません。

食品ロスを削減するためには消費者、事業者、行政がそれぞれの立場で主体的に取り組むことが重要です。出来ることから取り組みをはじめましょう。

その他、食品ロスに関する情報はこちらのサイトにも掲載されています。

- 山梨県 食品ロスをなくそう! <https://www.pref.yamanashi.jp/shokuhin-st/shokuhinrosusakugen.html>
- 消費者庁 食品ロス削減特設サイト <https://www.no-foodloss.caa.go.jp/index.html>
- 農林水産省 食品ロス・食品リサイクルサイト https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/
- 環境省 食品ロスポータルサイト <http://www.env.go.jp/recycle/foodloss/index.html>








新庁舎起工式

令和3年9月2日

学校行事

丹波小中運動会

9月11日(土)丹波小中運動会が行われました。当日は天候にも恵まれ、競技も工夫をする中で、小学校・中学校・保育所の児童・生徒が練習を重ね、良い演技・競技を実施することができました。初の試みとして、小中学生合同での獅子舞を舞いました。



獅子舞



▲ 保育所ダンス

丹波中学校清流祭



合奏





▲ ソーラン節

9月11日(土)今回は清流祭スローガンを「Galaxy」とし、満天の星空大作戦を立ち上げました。村内外から星にたくさんのメッセージをいただき、会場を星々でいっぱいになりました。

生徒の発表は、全校音楽の合唱・合奏、ソーラン節、各学年発表を行い、一人ひとりが力を発揮し、これぞ丹波中生と思える堂々としたすばらしい発表を見せてもらいました。生徒の皆さん・指導いただいた先生方お疲れ様でした。